２０２４年度

大学院総合医理工学研究科
（博士課程）
医学系専攻医学分野

学生募集要項（第３次募集）

一　般　入　試
社 会 人 入 試

信州大学では、インターネットを利用した出願を実施しています。
出願方法等は本学ホームページを必ず確認してください。
https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、本学ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。
https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/admission/

信州大学

信州大学大学院入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

総合医理工学研究科入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】

総合医理工学研究科では、本学の理念及び研究科の教育目標に則り、以下の能力と意欲を備えた人を積極的に受け入れます。

１．最先端の科学・医療・健康・福祉・技術の研究に積極的に取り組む人
２．世界をリードする科学・医療・健康・福祉・技術を担う研究者あるいは高度専門職業人を目指す人
３．学士課程、大学院修士課程、企業、医療機関等において能動的に学び、深い専門知識と技能及び研究推進能力を身に付けている人

【入学者選抜の基本方針】

各専攻の教育・研究分野の特徴に基づき、専門知識と技能及び研究推進能力、研究への意欲を適正に評価して入学者選抜試験を実施します。

医学系専攻入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】

医学系専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、次のような能力や意欲を備えた人を受け入れます。

１．医学分野もしくは保健学分野における科学的、倫理的、独創的な観点に基づき、基礎的あるいは臨床的研究を通して、疾病の予防・治療、健康長寿、クオリティ・オブ・ライフの向上に寄与することに対して情熱を有する人
２．高い倫理観と科学性、学際的な幅広い視野に立って、保健・医療・福祉の領域で高度専門医療職者としてリーダーシップをとることに意欲のある人

【入学者選抜の基本方針】

≪医学分野≫

上記の素養を持つ学生を選抜するために、自身の研究成果を国際学会や英文雑誌を通して世界に発信するのに必要な基礎学力を学力（英語筆記）試験により評価し（2)、入学の目的や将来の志望に向けた熱意(態度）(1)、および科学的思考と論理的な表現力（1・2）を口述（面接）試験により評価します。なお英語能力については、英語民間試験等も活用し評価します。

１．専攻及び募集人員

専　　攻	分　　野	募集人員
医学系専攻	医学分野	若干名

※　募集人員は、一般入試と社会人入試を合わせたものです。
※　社会人入試は、社会人が最新の医学知識・技術を学び取り、高度な医学能力、臨床医能力を身につけ、その成果を地域社会に還元したいという声に応え、昼夜開講制を導入しました。
（昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に大学院の授業及び研究指導の時間を設けることによって、医学関連分野の研究者などが大学院教育をより受け易くする制度です。）

２．出願資格

次のいずれかに該当する方とします。

なお、出願時に開業医、勤務医（医員、研修医等含む。）、研究機関、企業等に正規職員として勤務している方で、入学後もその身分を有する方は、社会人入試に出願してください。また、所属長から受験の承諾を受けた方とします。

（１）大学における医学、歯学、薬学（修業年限が６年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を卒業した方又は 2024 年３月までに卒業見込みの方
（２）医学系、理工学系又は農学系分野の研究科の修士課程を修了した方又は 2024 年３月までに修了見込みの方
（３）外国において学校教育における 18 年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は 2024 年３月までに修了見込みの方
（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は 2024 年３月までに修了見込みの方
（５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は 2024 年３月までに修了見込みの方
（６）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が５年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与され、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は 2024 年３月までに授与される見込みの方
（７）文部科学大臣の指定した者《昭和 30 年文部省告示第 39 号…（注１）参照》
［修士課程を修了した方（2024 年３月までに修了見込みの方を含む。）等］
（８）学校教育法第 102 条第２項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
（９）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学における医学、歯学、薬学（修業年限が６年のものに限る。）又は獣医学の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、2024 年３月 31 日までに 24 歳に達する方

(10) 大学における医学、歯学、薬学（修業年限が６年のものに限る。）又は獣医学の課程に4年以上在学した方（2024年３月までに４年以上在学する見込みの方を含む。）であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(11) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了し（2024 年３月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方で、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了し（2024 年３月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し（2024 年３月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

（注１）文部科学大臣の指定した者とは、次の各号のいずれかに該当する方です。

① 旧大学令（大正７年勅令第 388 号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した方

② 防衛庁設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した方

③ 修士課程を修了した方及び修士の学位の授与を受けることのできる方並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた方（学位規則の一部を改正する省令〔昭和 49 年文部省令第 29 号〕による改正前の学位規則〔昭和 28 年文部省令第９号〕第６条第１号に該当する方を含む。）で本研究科において、大学の医学、歯学、薬学（修業年限が６年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方

④ 大学（医学、歯学、薬学（修業年限が６年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上研究に従事した方で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学（修業年限が６年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方

備考：医療行為を伴う臨床研究を行う場合には、日本国の医師免許証又は歯科医師免許証を取得していることが必要となります。

３．入学資格審査

『２．出願資格（７）（注１）③、④及び（８）～（13)』に該当する方については、個別に資格審査を行いますので、受付期間内にそれぞれ該当する欄の書類を提出してください。

（１）入学資格審査申請書類受付

受付期間

第３次募集　2023 年 12 月 15 日（金）～ 2023 年 12 月 21 日（木）

（郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、受付期間最終日 17 時必着）

受付時間　９時～17 時（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）

提出先　〒390-8621　長野県松本市旭３丁目１番１号

信州大学医学部大学院係

（信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室）

TEL　0263-37-3376

（２）申請書類**（※印は本分野所定の用紙）**

①『２．出願資格（７）（注１）③、④及び（９)』に該当する方

※入学資格審査申請書（様式５）	必要事項を記入してください。
※志望理由書（様式６）	本分野を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※研究歴証明書（様式７）	大学、研究所等において研究に従事したことのある方のみ提出してください。
※研究業績目録（様式８）	学術論文等の別刷又は写しを添付してください。
最終学歴に関する証明書（注２）	卒業（見込）証明書（出身大学（学部）長が作成したもの)、成績証明書（出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの）を提出してください。 修士課程修了（見込）者は、修士課程の修了（見込）証明書及び成績証明書も提出してください。
返信用封筒（入学資格審査結果送付用）	長形３号の封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して、84 円分の切手を貼ってください。

②『２．出願資格（８)、(10）～（13)』に該当する方

※入学資格審査申請書（様式５）	必要事項を記入してください。
※志望理由書（様式６）	本分野を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
在学証明書又は在学期間証明書（注２）	出身大学（学部・研究科）長が作成したもの
成績証明書（注２）	出身大学（学部・研究科）長が作成し、厳封したもの
学修に関する資料（注２）	出身学部カリキュラムが確認できるもの
返信用封筒（入学資格審査結果送付用）	長形３号の封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して、84 円分の切手を貼ってください。

（注２）日本語又は英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

（３）資格審査

資格審査は、提出された申請書類により在学年数、取得単位、研究歴等を総合的に勘案して行います。

（４）結果通知期日

第３次募集　2024 年１月４日（木）

本人に審査結果通知書を発送します。入学資格を認定された方は、出願手続をしてください。

４．出願手続

（１）出願期間

第３次募集　　2024 年１月９日（火）～ 2024 年１月 15 日（月）
（郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、出願期間最終日 17 時必着）
受付時間　９時～17 時（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）

① インターネット出願登録サイトへの事前登録及び検定料の支払いは出願期間の１週間前から可能です。
② インターネット出願登録サイトへの登録だけでは、出願は完了しません。出願期間内に必要書類を提出することで完了します。
③ インターネット出願の流れについて、詳細は本研究科ホームページ掲載の「インターネット出願の流れ」にて確認してください。
（https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/admission/medical-sciences/）

（２）出願書類等提出先

〒390-8621　長野県松本市旭３丁目１番１号
信州大学医学部大学院係
（信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室）
TEL　0263-37-3376

（３）出願書類等 **（※印は本分野所定の用紙）**

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間（書類提出期間）内に提出してください。

① インターネット出願登録後、マイページから印刷する書類等
※印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

出願書類等	書類の説明
出願確認票 （大学提出用）	A4 サイズの用紙に片面印刷してください（白黒印刷可）。
宛名シート 【郵送の場合のみ】	郵送により提出する場合、印刷したものを市販の角形２号封筒（24 ㎝×33.2 ㎝）に貼り付け出願書類を入れて郵送してください。

② 出願登録サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

出願書類等	書類の説明
写真	写真データ（ファイル形式（jpg、jpg、png、bmp）、データ容量 10MB まで）を用意してください。 インターネット出願登録サイトで志願者本人の顔写真（出願３か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの）のアップロードを行ってください。 不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。

③ 本専攻の Web サイトからダウンロード・印刷して準備する書類
https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/admission/medical-sciences/

出願書類等	書類の説明
※受験承諾書（様式１）	担当教員の署名及び押印が必要です。
※受験及び修学承諾書（様式２）	社会人入試出願の方は、入学後の勤務（予定）先の所属長等が作成したものを提出してください。
※宛名票（様式３）	合格通知書等の送付先を記入してください。

※外国人留学生申請書（様式４）	外国人志願者のみ提出してください。
※受験タイプ選択確認書（様式９）	希望する受験タイプ（A：本学での受験もしくは B：外部英語スコアの提出とオンライン面接）を選択してください。

④ 志願者が準備する書類等

出願書類等	書類の説明
成績証明書（注２）	出身大学(学部)長が作成し、厳封したものを提出してください。 修士課程修了（見込）者は、修士課程の成績証明書も提出してください。(本学医学部・医学系研究科出身者は不要)
卒業（見込）証明書（注２）	出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(本学医学部出身者は不要)
修士課程修了（見込）証明書（注２）	修士課程修了（見込）者は、出身大学(研究科)長が作成したものを提出してください。(本学医学系研究科出身者は不要)
「住民票の写し」 又は 「パスポート」のコピー	【外国人志願者のみ提出してください。】 現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」(居住している市区町村長が発行したもの) １通を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。
「入学資格認定書」のコピー	【該当者のみ提出してください。】

（注２）日本語又は英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳又は英語訳を添付してください。

（４）出願方法

① インターネットによる出願情報の登録（顔写真のアップロードを含む。）

② 入学検定料の支払い

検 定 料：30,000 円（※入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。）

支払期間：**第３次募集** 2024 年１月２日（火） ～2024 年１月 15 日（月）

支払方法：コンビニエンスストア、ペイジー対応銀行 ATM、ネットバンキング、クレジットカード（VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFG、DC、UFJ、NICOS）のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

（注）

・銀行窓口での支払いはできません。
・コンビニエンスストアに設置されている ATM での支払いはできません。
・コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。
・本学の大学院研究科修士課程を修了見込みの方及び国費外国人留学生は、入学検定料は不要です。

③ 必要書類等の提出（郵送又は持参）

郵送する場合は市販の角形２号封筒（24 ㎝×33.2 ㎝）に入れ、その封筒にインターネ

ット出願登録サイトから印刷した「宛名シート」を貼り付け、簡易書留速達郵便で郵送してください。

④「受験票」と「受験者心得」の印刷

「受験番号お知らせメール」を受信後、出願登録サイトから「受験票」を印刷してください。また、このメールに記載のＵＲＬから<受験者心得>にアクセスし、印刷・熟読してください。「受験者心得」には、試験場への交通案内、当日の集合（入室）時刻、注意事項など受験に必要な情報を記載します。必ず印刷し、試験当日に受験票とともに持参してください。

５．選抜方法等

入学者の選抜は、外国語試験、面接試験の結果及び成績証明書を総合して行います。

（１）外国語試験は、辞書（医学用語辞典を含む。）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。

（２）面接は、志望する専攻科目について行います。

（３）希望する方は外部英語スコアの提出とオンライン面接（B タイプ）で受験することができます。

(A タイプ)

試験日時・場所

期日	時間	試験科目	試験場
2024 年２月８日（木）	10：00～12：00	外国語 （英語）	信州大学医学部 ※詳細は受験者心得をご確認ください。
	13：00～	面接	

(B タイプ)

①外国語（英語）

TOEFL iBT または IELTS（Academic Module）または TOEIC (L&R)のスコア提出により、本学の英語筆記試験に換算して英語力を評価します。

【TOEFL iBT】

TOEFL iBT 72 以上を 100 点とする。

72 以下の場合：換算点＝100×(TOEFL iBT スコア)／72

Test Taker Score Report（受験者控えスコア表）を提出のこと

※My Best Score の提出を認める。

【IELTS（Academic Module)】

IELTS スコア	4.0	4.5	5.0	5.5 以上
換算点	58	72	86	100

Test Report Form（公式成績証明書）を提出のこと

【TOEIC (L&R)】

TOEIC (L&R)730 以上を 100 点とする。

730 点以下の場合：換算点＝100×（TOEIC のスコア）／ 730

Official Score Certificate（公式認定証）を提出のこと

・いずれも試験日から２年以内のスコアに限ります。

・上記以外の公式英語スコアの提出を希望する場合は、出願前にご相談ください。
・2024 年２月８日（木）必着にて信州大学医学部大学院係へ提出してください。

②面接

本学における面接に替えて、2024 年２月８日（木）午後の本学の指定する時間に Zoom によるオンライン面接を実施します。事前接続テスト、試験開始時間及び実施方法の詳細は出願受付後に出願時に登録したメールアドレスあてに連絡します。

６．合格発表

第３次募集　　2024 年３月７日（木）10 時

合格者に対し合格通知書を発送し、本学大学院総合医理工学研究科ホームページ（https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/）に合格者の受験番号を発表します。
なお、電話やメール等による合否のお問い合わせには応じられません。

７．入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

（１）入学手続期間

第３次募集　　2024 年３月８日（金）～ 2024 年３月 15 日（金）
受付時間　９時～17 時（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）

（２）入学手続場所

「４．出願手続（２）出願書類等提出先」と同じです。

（３）入学料の納入等

①銀行振込により所定の入学料を納入してください。
②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度があります。

（４）手続に当たっての注意事項

入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものとして取り扱います。

８．障害等のある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、書面により相談してください。

なお、重度の障害等のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

詳しくは、本学のホームページ（入試情報ポータル／障害等のある方の事前相談）をご覧ください。

（https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation/index.html）

(1) 提出期限　　入学資格審査受付期間初日 17 時までに必着

(2) 提出先

〒390-8621　長野県松本市旭３丁目１番１号
信州大学医学部大学院係
（信州大学大学院総合医理工学研究科入試事務室）
TEL　0263-37-3376

(3) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

９．注意事項

（１）本分野に入学を希望する方は、あらかじめ志望する教室の担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

（２）受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。

また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に支払った場合又は支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により支払われた検定料（二重に支払った場合は重複して支払われた分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報ポータル/入学検定料返還手続）をご覧ください。
（https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html）

（３）出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに「４．出願手続（２）出願書類等提出先」に連絡してください。

（４）不正行為について

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。

ア 解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入）をすること。
イ カンニング（試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり、見たりすること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
ウ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
エ 問題冊子を試験室から持ち出すこと。
オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
キ 試験時間中に、使用を許可されたもの以外の筆記用具を使用すること。
ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、辞書機能をもつ電子機器類を使用すること。
ケ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、辞書機能をもつ電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていること。
イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
エ 試験室において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
オ 試験室において試験監督者等の指示に従わないこと。
カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

信州大学大学院総合医理工学研究科
医学系専攻医学分野入学案内

１．目的（総合医理工学研究科）

医学、保健学、理学、工学、農学、生命医工学の各専門分野の深い知識・技能と、社会の変化への柔軟な対応力を兼ね備え、社会に寄与する有為な高度専門職業人・研究者を養成するため以下の能力を共通的必須能力として修得させる。

１．専門分野以外の課題を見渡すとともに自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力

２．高度専門職業人・研究者として科学・技術を発展させるための健全な倫理観

２．標準修業年限

４年

３．修了要件及び履修方法

博士課程に４年以上在学し、32 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士課程の目的に応じ、博士論文の審査及び最終試験に合格することです。ただし、在学期間に関しては、研究科が優れた業績を上げたと認める者については、博士課程に３年以上在学すれば足りるものとします。（詳細については、「４．出願手続（２）出願書類等提出先」に問合せしてください。）

単位修得の認定は、試験又は研究報告によって行います。

専門領域における研究指導は複数教員による指導体制のもとに行います。

研究科共通科目（必修科目）	２単位
専攻共通科目（必修科目）	２単位
専攻共通科目（選択必修科目）	２単位
分野共通科目（必修科目）	２単位
分野共通科目（選択必修科目）	６単位
専門科目（必修科目）	12 単位
専門科目（選択必修科目）	６単位

を満たし、取得単位数の合計が 32 単位以上

＊生命医工学専攻４年制コースを第２志望とする方は、生命医工学専攻４年制コースの学生募集要項をご確認ください。

４．授与される学位

博士（医学）の学位が授与されます。

５．入学料・授業料

入学料　282,000 円

授業料　（前期）267,900 円　　（後期）267,900 円

金額は 2023 年４月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封してお知らせします。なお、本学の大学院研究科修士課程を修了し、引き続き博士課程に進学する方及び国費外国人留学生は、入学料を納付する必要はありません。

６．奨学金等

・日本学生支援機構から奨学金の貸与を希望する方は、選考のうえ、奨学生に採用されます。

・博士学生の支援プログラムについて

信州大学では、優秀な博士課程学生を支援する奨学金プログラムを実施しています。

・信州産学共創フェローシップ（科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業）

・次世代高度人材『地域発志士』育成プログラム（次世代研究者挑戦的研究プログラム）

本プログラムは、国の政策による予算により実施しています。2024 年 4 月以降は制度が変更されるため、プログラム学生の募集は現時点では未定です。

なお、2024 年 4 月から、新たな事業による継続が検討されています。本学は、博士学生への支援を継続的に行うために、新たな事業による学生の支援の継続を目指しています。継続する場合の、プログラム学生の募集については、Web サイトで周知します。適宜、Web サイトを確認するようにしてください。

https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/information/

信州大学大学院総合医理工学研究科医学系専攻医学分野の
組織及び研究内容

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

教　室	担当教員	主　な　研　究　内　容
組織発生学 Histology and Embryology	城倉　浩平 kohei@	・腎臓発生・再生に関する研究 ・多能性幹細胞を用いた再生医学と疾患病態探索 ・多能性幹細胞の未分化維持機構
人体構造学 Anatomy	福島　菜奈恵 nanae@	・神経解剖学 ・機能解剖学 ・肉眼解剖学
病理組織学 Pathology	菅野　祐幸 hirokan@	・人体病理学（膠原病・腎・血管、リンパ造血系の病理） ・EBウイルス感染の病理、免疫病態
分子病態学 Molecular Pathophysiology	沢村　達也 sawamura@	・血管の生物学・病理学 ・生活習慣の病因解明とその予防・診断・治療法の開発 ・炎症性疾患の病因解明とその予防・診断・治療法の開発
	連携教員 青山　琢磨 aoyama@	・冠動脈疾患・心不全の臨床生化学的及び生理学的解析と病因解明 ・腫瘍循環器学における病態解明と治療法確立に関する研究
	連携教員 橋本　唯史 tonchan@ ncnp.go.jp	・認知症の病態形成と発症機序の解明、及び新規予防・治療法開発 ・細胞内分解機構の解明に基づく神経変性疾患の機序解明 ・神経変性疾患に対するエピゲノムアプローチ
	連携教員 服部　功太郎 hattori@ ncnp.go.jp	・バイオバンキング（臨床試料の収集） ・精神疾患バイオマーカーの開発 ・オミックス解析
	連携教員 村松　里衣子 muramatsu@ ncnp.go.jp	・神経傷害や修復機構の解明 ・免疫、脈管、内分泌と脳機能の関連解析
	連携教員 川内　大輔 d.kawauchi@ ncnp.go.jp	・神経発生学・脳腫瘍発生学 ・小児脳腫瘍の病態解明に基づいた診断法や治療法の探索 ・脳腫瘍モデル動物を用いた基礎と臨床を繋ぐ橋渡し研究
分子細胞生理学 Molecular and Cellular Physiology	田渕　克彦 ktabuchi@	・大脳生理学（脳機能の解明） ・精神・神経疾患の原因解明
分子医化学教室 Biochemistry and Molecular Biology	平塚 佐千枝 hira@	・がんの発生、転移の研究−原発がんと転移臓器、全身臓器の相互作用の解明、診断、治療方法の確立（マウス） ・がんに関与する臓器間相互作用と転移診断、治療法の探索（ヒト） ・臓器培養法を用いてのがん転移先環境の解析 ・正常及びがん病態における血管内皮細胞の応答性の研究 ・がん免疫と新規の抗転移細胞作製の研究 ・核酸に着目した、がんに関与する転写、翻訳、関連物質の細胞内移行や分子構造の解析
臨床薬理学 Clinical Pharmacology and Therapeutics	内藤　隆文 naitou@	・生体試料中薬物濃度の高感度迅速定量法の開発 ・ヒトにおける医薬品の効果・副作用の個人差の解明 ・がん・疼痛・感染症等の疾患や周産期における合理的薬物治療の構築 ・非実験的手法を用いた医薬品の副作用や薬物間相互作用の検出

教　室	担当教員	主　な　研　究　内　容
免疫制御学 Molecular and Cellular Immunology	山条　秀樹 hsanjo@	・免疫細胞の分化と機能の転写因子、シグナル伝達分子による調節機構 ・生体防御の分子機構 ・免疫異常及びアレルギーの発症機構
内科学（１） Medicine Ⅰ 呼吸器内科学 感染症学 アレルギー学	花岡　正幸 masayuki@	・慢性閉塞性肺疾患(COPD)・気管支喘息の気道・肺の炎症に関する研究 ・COPD の病態に関する基礎的研究 ・胸部悪性腫瘍の治療に関する研究 ・間質性肺疾患の病態・治療に関する研究 ・新興・再興呼吸器感染症に関する臨床研究 ・非結核性抗酸菌症の病態・治療に関する研究 ・高山病・高地肺水腫の病態に関する研究 ・肺高血圧症の病態・治療に関する研究
内科学（２） Medicine Ⅱ 消化器内科学 腎臓内科学	梅村　武司 tumemura@	・ウイルス肝炎・非アルコール性脂肪性肝炎の病態と治療 ・自己免疫性肝・消化管疾患の遺伝的背景、病態、治療 ・光線免疫療法の消化器腫瘍への応用にむけた基礎的検討 ・消化管腫瘍幹細胞の病理学的検討 ・IgG4 関連疾患の病態解明 ・腎臓病における脂質代謝異常の病態解明 ・慢性腎臓病における心血管病発症機序の解明と新規バイオマーカーの開発 ・新たな血液浄化療法の有効性に関する検討
内科学（３） Medicine Ⅲ 脳神経内科学 リウマチ・膠原病内科学	関島　良樹 sekijima@	・代謝性神経筋疾患（アミロイドーシス）の成因と治癒に関する研究 ・神経変性疾患（脊髄小脳変性症、パーキンソン病、ALS）の成因解明 ・末梢神経障害の生理学的解析および治療法の開発 ・免疫性神経疾患の成因と治癒に関する研究 ・筋ジストロフィーの研究 ・リウマチ関連疾患、膠原病の成因解明と治療法の開発 ・成人型シトルリン血症の病態解明 ・遺伝性周期熱の病態解明と治療法の開発
	連携教員 西野　一三 nishino@ ncnp.go.jp	・筋ジストロフィー等の各種遺伝性筋疾患の病態解明と治療法開発 ・筋炎を初めとする各種後天性筋疾患の病態解明と治療法開発 ・アミロイドーシスを初めとする全身性疾患に伴う筋疾患の病態研究 ・筋疾患の診断法開発 ・筋レポジトリーの構築と活用に関する研究
	連携教員 髙橋　祐二 yutakahashi@ ncnp.go.jp	・神経変性疾患の疾患 Trajectory の解明とバイオマーカーの探索 ・神経疾患の原因遺伝子・疾患感受性遺伝子の探索 ・神経疾患の多モダリティ治療法開発 ・脊髄小脳変性症の病型別前向き自然歴確立 ・筋萎縮性側索硬化症の分子病態解明
	連携教員 青木　吉嗣 tsugu56@ ncnp.go.jp	・筋ジストロフィーに対するエクソン・スキップ研究 ・筋ジスモデルマウス・イヌ・マイクロブタを用いた病態・治療研究 ・神経筋疾患に対する尿由来細胞を用いた病態・治療研究 ・神経筋接合部作製による筋萎縮性側索硬化症の病態・治療研究 ・ヒト脳オルガノイド技術を用いた神経筋疾患の病態・治療研究
内科学（４） Medicine Ⅳ 糖尿病・内分泌代謝内科学 老年医学	駒津　光久 mitsuk@	・２型糖尿病の病態解明 ・膵ラ氏島の生物学 ・甲状腺ホルモン作用機序 ・遺伝性、家族性発症の腫瘍疾患の遺伝子診断とその治療への応用 ・加齢現象と疾患に関する基礎的研究および内分泌代謝疾患の研究 ・各種病態における栄養学

教　室	担当教員	主　な　研　究　内　容
内科学（５） Medicine Ⅴ 〔 循環器内科学	桑原　宏一郎 kkuwah@	・心不全、不整脈、動脈硬化性心血管病の病態解明 ・心不全の分子メカニズム解明と治療標的探索 ・心血管疾患における炎症の関与 ・幹細胞を用いた心血管再生医療 ・心エコーによる心機能解析 ・不整脈疾患の病態解析 ・冠動脈疾患のイメージング解析 ・閉塞性動脈硬化症の先端医療 ・心臓リハビリテーションの啓発活動
皮膚科学 Dermatology	奥山　隆平 rokuyama@	・悪性黒色腫の臨床診断精度の向上に関する研究 ・悪性黒色腫の新しい治療法の開発 ・皮膚腫瘍の分子細胞生物学的な診断システムの開発 ・表皮細胞の増殖・分化制御と発癌機構に関する分子細胞生物学的解析 ・酸化ストレス応答の面からのアトピー性皮膚炎の病態解析 ・乾癬の新しい診断法の確立と臨床応用
画像医学 Radiology	藤永　康成 fujinaga@	・画像診断による病変の早期発見と鑑別診断 ・画像診断による疾患の病態解明 ・画像診断法の治療応用（IVR） ・新しい画像診断法・治療法の開発、人工知能の画像診断への応用 ・悪性腫瘍の放射線治療を中心とする集学的治療
外科学 Surgery 〔 消化器外科学 移植外科学 小児外科学	副島　雄二 ysoejima@	・消化器癌における免疫チェックポイントメカニズムの解析 ・膵癌における BCL-XL 阻害剤の有効性 ・臓器移植と再生医療（同種・異種移植、拒絶反応、肝再生、ES 細胞を用いた肝様構築に関する研究） ・腫瘍学（分子標的治療、癌細胞のアポトーシス誘導、癌幹細胞）
産科婦人科学 Obstetrics and Gynecology	塩沢　丹里 tanri@	・産婦人科腫瘍の発生と進展機序 ・産婦人科腫瘍に対する新しい治療法の開発 ・産婦人科腫瘍の病理診断 ・妊娠高血圧症候群の予防に関する研究 ・不妊症の診断と新しい治療法の開発
泌尿器科学 Urology	小川　輝之 ogawat@	・神経泌尿器科 ・尿路性器腫瘍 ・尿路形成手術 ・尿路再生 ・女性泌尿器科 ・腎臓移植
形成再建外科学 Plastic and Reconstructive Surgery	杠　俊介 yuzuriha@	・創傷治療 ・組織再生の基礎的研究 ・血管腫・血管奇形 ・乳房再建外科・リンパ浮腫の外科 ・頭蓋顎顔面外科 ・唇顎口蓋裂
麻酔蘇生学 Anesthesiology and Resuscitology	田中　聡 s_tanaka@	・手術痛や癌性疼痛の疼痛メカニズムと新たな鎮痛薬の開発 ・麻酔と交感神経活動との研究 ・免疫と神経のカップリング ・肺におけるガス交換の基盤研究 ・麻酔中の意識・脳波解析

教　室	担当教員	主　な　研　究　内　容
精神医学 Psychiatry	鷲塚 伸介 swashi@	・統合失調症、気分障害の臨床・疫学・分子生物学的研究 ・児童・思春期・青年期精神障害、発達障害の臨床・疫学・生物学的研究 ・精神障害への内分泌学的異常の関与に関する研究 ・周産期メンタルヘルスに関する研究 ・リエゾン・コンサルテーション精神医学 ・精神障害のバイオマーカー探索研究
	連携教員 埴原　秋児	・精神障害者の地域支援に関する研究 ・認知症、器質性精神障害の臨床研究 ・児童・思春期・青年期精神障害、発達障害の臨床研究 ・環境と精神障害の相互連関に関する研究
	連携教員 鬼頭　伸輔 kito@ncnp.go.jp	・ニューロモデュレーション（NM）の有効性および安全性と治療戦略に関する研究 ・治療抵抗性うつ病への新規刺激条件の開発 ・治療抵抗性うつ病への認知行動療法（CBT）と NM 併用療法に関する研究 ・再燃・再発を防ぐための連続・維持療法に関する研究 ・費用対効果に着目した新規刺激条件の開発と検証的試験に関する研究 ・磁気けいれん療法（MST）の開発と検証的試験に関する研究 ・神経画像に基づく Precision Medicine に関する研究 ・治療抵抗性強迫性障害への CBT を併用した新規治療法に関する研究
眼科学 Ophthalmology	村田　敏規 murata@	・網膜硝子体疾患 ・緑内障 ・ぶどう膜炎 ・糖尿病網膜症 ・加齢黄斑変性
耳鼻咽喉科頭頸部外科学 Otorhinolaryngology - Head and Neck Surgery	工　穣 takumi@	・人工内耳を介した DDS による蝸牛神経保護・治療に関する研究 ・耳科疾患診断･治療のデータベース構築と新規 AI 診断･解析システム開発 ・遺伝性難聴モデルに対する病態解明と新規遺伝子治療開発 ・進行性難聴により前庭障害を起こす因子とメカニズムの解明 ・遺伝子発現解析による頭頸部癌の微小環境解析 ・頭頸部癌患者におけるがんリハビリテーションの有効性に関する検討 ・長野県の空中花粉の多様性と地域性に関する検討
遺伝医学 Medical Genetics	古庄　知己 ktomoki@	・分子遺伝学、分子細胞遺伝学（遺伝疾患の遺伝子解析など） ・臨床遺伝学 ・遺伝カウンセリング
	連携教員 稲葉　雄二	・新生児・小児期の疾患の遺伝医学的研究 ・新生児期発症の疾患の病態解析と治療の検討 ・小児期発症の疾患の病態解析と治療の検討
衛生学公衆衛生学 Preventive Medicine and Public Health	野見山　哲生 nomiyama@	・環境医学 ・産業医学（中毒学・疫学） ・疫学 ・公衆衛生学 ・臨床疫学 ・子どもと環境に関する大規模出生コホート研究（エコチル調査） ・医学・医療・保健における大規模データ分析と社会実装
医療情報学 Medical Informatics	北口　良晃 kitaguti@	・医療情報学 ・病院情報システム ・医療情報連携システム ・電子カルテにおける個人情報保護

教　室	担当教員	主　な　研　究　内　容
病態解析診断学 Laboratory Medicine	上原　剛 tuehara@	・上皮性腫瘍の外科病理学と組織化学 ・間質性肺炎の病態解析 ・H.pylori の臨床病理学 ・凝固線溶系の分子生物学的解析 ・IgG4 関連疾患の病態解明
法医学 Legal Medicine	浅村　英樹 asamura@	・法医遺伝子学 ・法医病理学 ・法中毒学 ・DNA タイピングと疾患原因遺伝子の解析
救急集中治療医学 Emergency and Critical Care Medicine	今村　浩 imamura@	・脳心肺蘇生法の開発 ・人工呼吸法の開発 ・体外式心肺補助法の開発 ・重症臓器不全における治療法の開発 ・災害医療
国際医学研究推進学 Global Medical Research Promotion	田中　直樹 naopi@	・ICT を用いた医学教育や国際交流・留学・研究支援システムの開発 ・国際医学教育のアウトカムの検討 ・肥満や脂肪肝をはじめとした、生活習慣病に対する機能性食品の開発 ・非アルコール性脂肪肝炎の予防・診断・治療に関する国際共同研究
循環病態学 Cardiovascular Research	新藤　隆行 tshindo@	生活習慣病や循環器疾患をはじめとして、がん、腎不全、肝不全、肺線維症、サルコペニアなど、血管の恒常性破綻から引き起こされる様々な病態を対象に、そのメカニズム解明や治療法開発研究を行っている。特にクリスパー/Cas などのゲノム編集法を改良して教室オリジナルの遺伝子改変マウス（ノックアウトマウス、トランスジェニックマウスなど）を樹立し、その解析のため最先端の医学研究手法を包括的に導入している。 (http://www7a.biglobe.ne.jp/~shindo/)
スポーツ医科学 Sports Medical Sciences	増木　静江 masuki@	・運動生理学 ・環境生理学 ・温熱生理学 ・運動トレーニング、環境適応過程における体液循環調節機構 ・暑熱適応、寒冷適応 ・高地適応メカニズムの解明 ・生活習慣病・介護予防のための運動処方に関する研究
健康促進学 Health Promotion Science （協力・連携教室）	寺沢　宏次 kterasa@	・子どもの脳の発達についての教育心理学的研究 ・運動コミュニケーション ・高齢者の健康教育に関する研究
	高橋　知音 tomonet@	・発達障害のある人の認知機能に関する心理学的研究 ・読み書きの情報処理に関する心理学的研究 ・心理検査の開発
	島田　裕之 shimada@ ncgg.go.jp	・高齢期の機能障害に関する研究 ・老年症候群の疫学と危険因子に関する研究 ・運動などによる認知症の予防に関する研究
感染病態解析学 Infection and Host Defense （寄附講座）	髙本　雅哉 masaya@	・人獣共通感染症に対する防御免疫機構 ・細胞内寄生病原体による炎症機構 ・腸内細菌叢による腸炎の解析
寄生虫感染症学 Parasitology	高本　雅哉 masaya@	・トキソプラズマの遺伝子解析 ・腸管寄生虫に対する防御免疫機構 ・日和見感染症

この募集要項に関する照会先

信州大学医学部大学院係
（大学院総合医理工学研究科入試事務室）
https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/admission/
〒390-8621 長野県松本市旭３丁目１番１号
TEL 0263(37)3376（直通）
FAX 0263(37)3080

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用いたします。

① 入学手続
② 学籍管理
③ 学習指導
④ 学生支援関係業務
⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。